

しこぶち フォーラム 2017



Shikobuchi



Forum

日時 | 平成 29 年 3 月 18 日 (土) 14 時～16 時 30 分 (13 時 30 分受付開始)

場所 | 朽木 やまびこ館 大ホール (滋賀県高島市朽木市場 792)

参加無料

〈定員〉 250 名 (受付順) 〈参加方法〉 事前申し込みは不要です。直接会場にお越し下さい。



自然と人の技と祈りが生み出した、
筏流しと「しこぶち信仰」から見えてくるもの。

朽木の林業は、奈良・東大寺や京の都の造営等で必要となった大量の木材の需要を支えてきました。安曇川の筏流しは、木材の輸送手段として発達し、流域各地には川の魔物を取り除く神様「シコブチ神」が大切に祀られてきました。戦後、輸送手段の変化とともに筏流しは消滅し、さらに外国産木材の輸入増大とともに、地域の林業は基幹産業の座を追われることになりました。

自然環境を生かして育まれてきた山村文化と祈り、川や道を通じた都市との往来、これらに思いをはせながら、便利になった私たちの生活と未来へ、どのようなつながりと活かし方が見えてくるのかを考えたいと思います。

連絡先

✉ info@musubime.tv ☎ 090-5014-1600 (結びめ・文化庁事業担当)

主 催 高島市文化遺産活用実行委員会、安曇川流域文化遺産活用推進協議会

平成 28 年度文化庁文化芸術振興費補助金
(文化遺産を活かした地域活性化事業)



登壇者の紹介



服部 滋樹 氏

Hattori Shigeki

graf 代表、クリエイティブディレクター

1970年生まれ、大阪府出身。建築、インテリアなどに関わるデザインやディレクションを手掛け、近年では地域再生などの社会活動にもその能力を発揮している。2014年、滋賀県のブランド力を高めていく為に発足した「MUSUBU SHIGA」のプランディングディレクターに就任。くらしている人々が“これまで”培ってきた魅力を調査・再発見し、出会ってきたモノを繋ぎ合させて実践しながら、あたらしい滋賀県の価値をデザインし、滋賀の“これから”を考えている。

京都造形芸術大学芸術学部情報デザイン学科教授。



加藤 賢治 氏

Kato Kenji

成安造形大学 准教授、宗教民俗学者

高等学校地歴科教員を経て、1997年成安造形大学事務局勤務。勤務の傍ら宗教民俗を学ぶため大学院へ進学。2008年から成安造形大学附属近江学研究所研究員となり現在に至る。2016年4月から成安造形大学芸術学部准教授。専門分野は宗教民俗学、日本文化史。「近江」という風土や文化の中に、変わらずに残るかけがえのないものを探し出し、21世紀の社会にどのように結びつけるかを探求している。



石田 敏 氏

Ishida Satoshi

元『朽木村史』編集委員長、元高島市文化財保護審議会委員

公立中学校で教鞭をとる傍ら、中世城郭研究および郷土史研究を続ける。1983年から滋賀県中世城郭分布調査員、1992年から朽木村文化財専門委員。合併前の旧朽木村で始められた『朽木村史』編さん事業に関わり、2005年からは編集委員長に就く。中学校長の職を辞した後は、編さん室長を務め、同時に中世史・城郭・遺跡・しこぶち信仰・街道・本地師等に関わる分野の執筆を担当した。主な著作に『朽木村の城館探訪』、『安曇川と筏流し』等がある。



清水 安治 氏

Shimizu Yasuharu

中野思子淵神社氏子、高島市森林組合専務理事

安曇川流域に点在する「シコブチ神」のうち、最下流に位置する安曇川町中野の思子淵神社氏子として信奉する傍ら、林業と信仰の関連を探っている。川上で伐り出される木材を川下で使うしくみを抜げる活動を続けており、朽木小中学校体育馆の木造化をはじめとした、近くの山の木を使う木造建築づくりに関わっている。一级建築士。



大藤 寛子 氏

Daito Hiroko

筏流しマニア、難病ヘルパー

「安曇川には筏流しがあった」と京都・日吉町の郷土史家・秋里悠兒氏より教わり、石田敏氏著作「安曇川と筏流し」によりシコブチ神社への関心を深める。安曇川源流域の一つ、京都市大原大見という廢村での活動「大見新村プロジェクト」にて2013年9月の台風18号の豪雨で倒壊した大見・思子淵神社の解体作業、神社をめぐるツアーやハイキングを行う。また、滋賀の伝統行事や生活を捉えた映像上映で場づくりを行う「おうみ映像ラボ」メンバー。神經難病・ALS(筋萎縮性側索硬化症)在宅独居者のヘルパー。

プログラム

【第一部】基調講演

[14:10~15:00]

ローカルマインドな時より

服部 滋樹 氏 (graf 代表、クリエイティブディレクター)

滋賀の魅力を発信する「湖と、陸と、人々と。MUSUBU SHIGA」プロジェクトにて、滋賀県プランディングディレクターを務める服部氏。鯖の道・針畠越えを歩くなど高島市にも何度も足を運ばれています。ディレクターの目線でシコブチ信仰の魅力や可能性をお話しいただきます。

【第二部】パネルディスカッション

[15:10~16:20]

シコブチさんから見る、山と川の可能性

パネリスト :

加藤 賢治 氏 (成安造形大学 准教授、宗教民俗学者)

石田 敏 氏 (元『朽木村史』編集委員長、元高島市文化財保護審議会委員)

清水 安治 氏 (中野思子淵神社氏子、高島市森林組合専務理事)

大藤 寛子 氏 (筏流しマニア、難病ヘルパー)

モダレーター :

山本 晃子 氏 (高島市教育委員会 文化財課)

オプショナルツアー

シコブチ信仰にまつわる

祈りの場や林業遺構をめぐる

要申込

3月11〆切
定員 / 15名

日 時 / 平成29年3月18日(土) 9:30~12:00

場 所 / 腐木やまびこ館 発着

見学先 / 岩瀬志子淵神社 → 腐木資料館 → 高島市森林組合
→ 「ソロバン落し」の水門 → 中野思子淵神社

お申込 / チラシ表面の連絡先まで、①氏名 ②年齢 ③住所
④電話番号 ⑤メールアドレスをお知らせください。

*内容やスケジュールは予告なく変更する場合があります

会場案内地図

